

2011年7月25日

子供たちとプロ野球選手が野球品を共同開発
『やきゅう基地 商品共同開発企画』募集結果・協力選手決定

ミズノでは、子供たちとミズノ アドバイザリープロスタッフ選手と一緒に野球品を開発する「やきゅう基地 商品共同開発企画」を6月20日より開始しました。

このたびホームページを通じて子供たちの野球品に関する悩みや夢の集計が終了し、協力いただくプロ選手と開発の方向性が決定しました。

今後は、今回集まった意見をもとに子供たちとプロ選手との打ち合わせを重ね、12月の完成、来春の発売を目指して開発を進めていきます。開発過程は随時ホームページ上で公開していきます。 (<http://www.mizunoballpark.com/>)

<協力選手名>

グラブ	東出輝裕 選手 (広島東洋カープ) 梵 英心 選手 (広島東洋カープ)
バット	山崎武司 選手 (東北楽天ゴールデンイーグルス) 新井貴浩 選手 (阪神タイガース) 内川聖一 選手 (福岡ソフトバンクホークス)
シューズ	松本哲也 選手 (読売ジャイアンツ)
ウェア	由規 選手 (東京ヤクルトスワローズ)

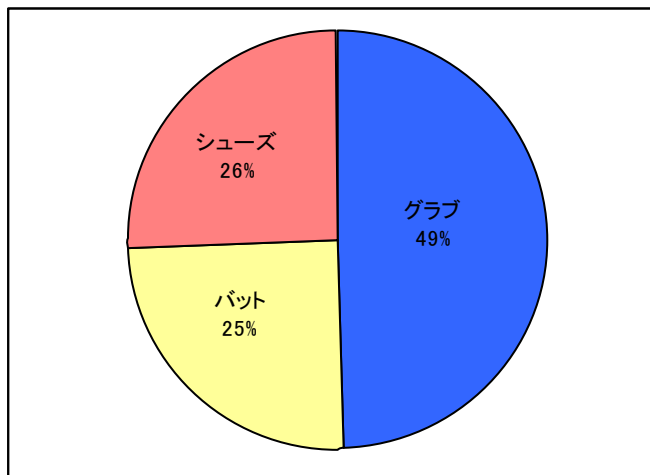
※このたびウェアも追加で開発していくこととなりました。

<子供たちからの意見募集結果>

期間：2011年6月20日～7月4日

総数：110人 (のべ意見数174件)

寄せられたのべ意見数の内訳は以下の通りです。



グラフ：寄せられた意見の内訳

<代表的な意見・開発の方向性>

■ グラブ

- ・ 握力が弱いのでボールがつかみきれない。特にグラブの先のほうで取るようなギリギリのボールは転がり落ちてしまう。ボールがこぼれにくいグラブ。
- ・ 中を乾燥させやすいほうがいい。
- ・ もっともっと手にぴったりするグラブがほしい。
- ・ グラブの手首入り口の広さ調整が簡単にできる。
- ・ 手首に近い部分でもボールがはじきにくく、軟式のイレギュラーなボールもとれる。
- ・ 型つけのしやすいように、グラブに目印がほしい！



<開発の方向性>

捕球の原点、技術向上の基本＝ボールを掴むことを覚えられるグラブ

■ バット

- ・ 握力が弱くても握りやすいグリップ。
- ・ 軽いのに良く飛ぶバット。
- ・ 太くて軽い練習用のバット。



<開発の方向性>

- ① 使用する子供たちにとっての『振りやすさ』を追究した最適形状（全体長さ、打球部直径、グリップ直径）、最適バランスのゲーム用バット
- ② 体力をつけ、スイング技術を身につけるためのトレーニングバット

■ シューズ

- ・ 早く走れるシューズがいい。
- ・ 軽くて足にフィットする。
- ・ コンクリートで走っても底が磨り減らない。
- ・ エナメル素材で、夏でも蒸れずに長持ちする。
- ・ 目立つ色のシューズ。



<開発の方向性>

グラウンドで1秒でも速く走るために、「軽量」を追求したトレーニングシューズ。子どもの足の健康な発育をサポートする機能、様々な使用条件に耐える事の出来る「耐久性」の確保。

■ ウェア

〈開発の方向性〉

早いボールが投げられるよう、正しいフォームで投げられる姿勢に導くウェア

〈参考：「やきゅう基地」について〉

ミズノでは2010年秋よりジュニア用野球品コーナー「やきゅう基地」を展開しています。「やきゅう基地」は、子供たちが初めて手にする野球用具・ウェアがミズノであって欲しい、という願いから誕生したジュニア専用コーナーです。全国約800店の売場を通じて、少年少女達に野球と触れ合うきっかけを提供し、野球ファンを増やしていきたいと考えています。また、野球を始める際の用具選びのポイントの情報発信、憧れの野球選手の手形や足形の設置など野球に親しめるような工夫を行っています。今回の企画はこの「やきゅう基地」の連動企画です。

(マスコミのお問合せ先)

東京広報 澤井・木水 TEL. 03-3233-7037

大阪広報 高橋・成清・植田 TEL. 06-6614-8373

(ユーザーのお問合せ先)

ミズノお客様相談センター  0120-320-799

ミズノ・野球情報は—<http://www.mizunoballpark.com/>